

## 翻訳にあたってのヒント

### その 20

#### 住所の書き方

今回は、日本の住所を英語で書き表す場合の原則について述べたいと思う。

この際の手っ取り早いコツは、英語にする場合には、順序をまったく逆にして書き記すということである。

この一例として、〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-1-1（あくまでも架空の住所）の英訳を挙げてみる。

1-1-1, Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023

そしてこれにビルやその階、部屋番号がついたりした場合でも、同様に逆から書けばいい。

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-1-1 新宿ビル 1 F 101 号室

Room No. 101, Shinjuku Bldg. 1F, 1-1-1, Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023

上記の例は東京が日本の東京都であることは世界でも周知の事実であろうから、あえて日本国を省いているが、日本をつける場合には上記の例はそれぞれ以下になる。

1-1-1, Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, Japan

Shinjuku Bldg. 1F, 1-1-1, Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, Japan

ほかにも、東京を除く日本の 15 大都市（以下、大きさ [人口] 順に、横浜、大阪、名古屋、札幌、神戸、京都、福岡、川崎、広島、さいたま、北九州、仙台、千葉、堺）に所在する住所であっても、都市によっては知らない人は知らないであろうから、**Japan** を最後に書き加えたほうがいいだろうかと思う。

ただし、「～丁目～番地～号」は上記のように羅列書きにせずに、特に「～丁目」だけは別途に明記したほうが郵送物などの届きはいいようであり、その書き方も以下にあげておく。

1-1, Nishi-shinjuku 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, Japan

Shinjuku Bldg. 1F, 1-1, Nishi-shinjuku 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0023, Japan

以上、これにて 20 回目の翻訳一口メモ終わり。